

## 「魚類」の細胞培養技術の確立に向けた共同研究

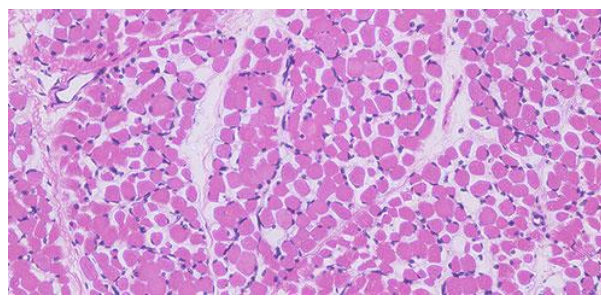
マルハニチロ(株)は、魚類の筋肉細胞の培養技術の確立をめざし、細胞培養スタートアップのインテグリカルチャー株式会社（以下、インテグリカルチャー）と水産練り製品業界でトップシェアを誇る一正蒲鉾株式会社（以下、一正蒲鉾）の3社で、共同研究開発を推進しています。

2021年8月より、マルハニチロ(株)はインテグリカルチャーと2社連携で本研究を進めてきました。インテグリカルチャーは、細胞農業（細胞培養）が普及する世界の実現に向けて、培養コストの低価格化と、細胞培養の大規模化技術の開発を行う革新的なスタートアップ企業です。同社が独自に展開する食品グレード培養液と汎用大規模細胞培養システム“CulNet System™”は、これまで牛と家禽<sup>かきん</sup>の細胞で有効性が確認されており、本研究では新たに魚類の細胞にも拡張させることをめざし、検証に必要な生きた魚（細胞）の提供をマルハニチロ(株)が担ってきました。2022年8月より、本研究に一正蒲鉾も加わり、水産加工食品向け培養魚肉の大規模商業化生産に向け三社体制で開発を進めていきます。

本取組みにより将来的に当社は、細胞培養技術によって作られた食品を消費者の皆さまの手の届く価格帯で提供することで、商業化生産を世界最速で実現し、持続可能な次世代の魚タンパクを提供することをめざしています。



培養液



培養細胞